

# 令和2年7月調査 賃金実態調査報告書(要約版)

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会

宇城久地域ビジネスサポートセンター

(宇治商工会議所・城陽商工会議所・久御山町商工会)

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会では、企業の賃金等の実態を把握し、労働環境の整備や雇用の確保など今後の企業経営の参考に供することを目的として、毎年7月に宇治・城陽・久御山区域内に事業所を有する企業1000社を対象に「賃金実態調査」を行っています。

今回は本年7月に、令和元年12月期の基本給や諸手当、平成31年1月～令和元年12月の年間賃金についての調査を行い、254社から回答(回答率25.4%)を得ました。以下は賃金実態調査結果の要約です。

## ①業種別平均賃金

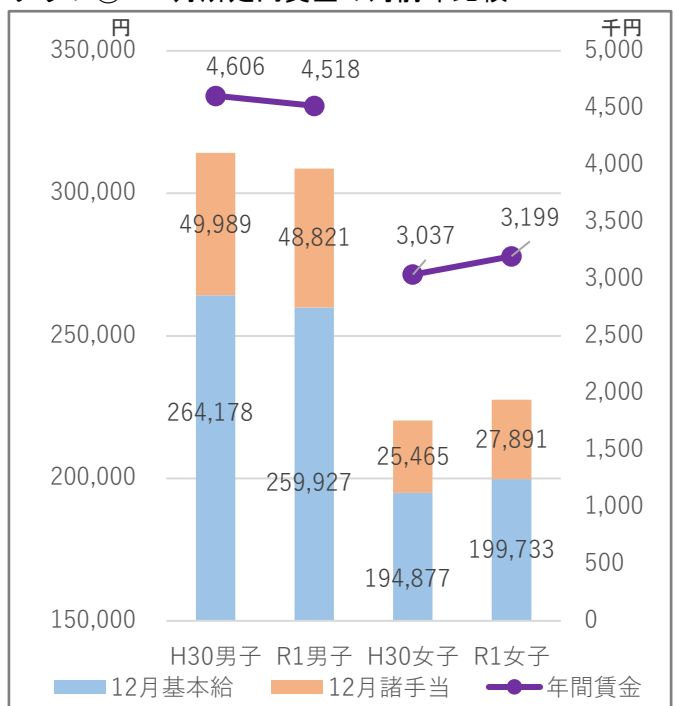
区分	集計事業所数	集計人数	平均年齢	平均勤続年数	令和元年12月の所定内賃金		年間賃金
					基本給	諸手当	
全業種平均	235社	1,411人	45歳	13年	259,927円	48,821円	4,518千円
					199,733	27,891	3,199
製造業	125	920	45	14	261,888	50,877	4,659
					197,693	29,598	3,277
卸売業	11	56	40	13	298,344	31,875	4,132
					223,419	18,812	3,495
小売業	21	79	46	15	238,017	25,528	3,783
					199,976	9,493	3,118
飲食業	8	10	40	8	271,200	58,700	4,115
					166,000	8,846	2,161
運輸・通信業	12	106	59	14	241,495	101,254	4,420
					203,292	71,125	4,179
建設業	33	158	45	12	274,294	40,591	4,304
					185,874	17,991	2,635
サービス業	22	76	45	13	216,836	22,597	3,290
					213,393	22,514	3,325
その他の業種	3	6	49	11	333,667	62,500	5,359
					276,250	66,667	5,518

令和元年12月に支払われた基本給は、全業種平均で男子259,927円(45才、勤続13年)、女子199,733円(44才、同11年)。諸手当については、業種平均で男子48,821円、女子27,891円であった。また、平成31年1月～令和元年12月の間に支払われた年間賃金(所定外賃金・賞与含む)は、全業種平均で男子4,518千円、女子3,199千円となっている。

基本給をその他以外の業種別にみると、男子では卸売業298,344円(40才、同13年)が最も高く、次いで飲食業が271,200円(40才、勤続8年)、建設業274,294円(45才、同12年)、製造業261,888円(45才、同14年)、運輸通信業241,495円(59才、同14年)の順で、女子については卸売業の223,419円(46才、同14年)が最も高くなっている。

前年との比較では、女子は12月の所定内賃金及び残業手当や賞与等も含めた年間賃金ともに増加しているが、男子は両方とも減少で、特に年間賃金は2年連続の減少となった。

グラフ① 12月所定内賃金の対前年比較



## ②規模別平均賃金

区 分		事業所数	全従業員平均賃金		従業員 1～19人		従業員 20～49人		従業員 50～99人		従業員 100人以上	
		社	人	円	人	円	人	円	人	円	人	円
全業種平均	男子	235	1,411	308,633	619	301,542	459	308,196	123	309,968	210	328,886
	女子		436	228,278	185	209,272	128	222,163	54	256,307	69	266,824
製造業	男子	125	920	312,765	389	300,269	314	311,738	60	311,530	157	344,422
	女子		244	227,403	90	203,826	83	218,608	29	266,942	42	266,324
卸売業	男子	11	56	336,161	28	318,027	13	345,038	15	362,317	xx	xx
	女子		19	253,879	9	223,940	5	302,200	5	259,449	xx	xx
小売業	男子	21	79	265,047	21	228,602	26	284,135	25	272,416	7	278,214
	女子		53	218,895	15	162,694	10	195,875	15	248,050	13	264,269
飲食業	男子	8	10	329,900	8	352,500	2	239,500	xx	xx	xx	xx
	女子		13	173,333	10	172,727	2	186,500	xx	xx	xx	xx
運輸・通信業	男子	12	106	312,687	39	329,836	11	323,612	20	316,162	36	288,840
	女子		16	274,574	8	270,431	4	318,430	xx	xx	4	239,004
建設業	男子	33	158	319,264	84	323,430	74	314,534	xx	xx	xx	xx
	女子		40	205,161	23	182,777	17	232,812	xx	xx	xx	xx
サービス業	男子	22	76	247,048	44	247,379	19	232,458	3	276,096	10	264,600
	女子		47	244,921	25	250,937	7	188,976	5	216,258	10	283,375
その他の業種	男子	3	6	401,167	6	401,167	xx	xx	xx	xx	xx	xx
	女子		4	326,250	4	326,250	xx	xx	xx	xx	xx	xx

(注) データが1名以下の区分については“××”を表示している。

令和元年12月に支払われた所定内賃金（基本給に諸手当を加えたもの）の規模別平均賃金をみると“全従業員平均賃金”を“従業員1～19人”区分の賃金が上回ったのは、男子で飲食業、運輸・通信業、建設業、サービス業の4業種に対し、女子はサービス業のみとなっている。

“従業員20～49人”の区分の賃金では、“全従業員平均賃金”を男女ともに上回ったのは、卸売業と運輸・通信業の2業種であった。

一方、規模別平均賃金を業種別にみると“全業種平均”の賃金を“従業員1～19人”区分が上回ったのは、男子では、卸売業、飲食業、運輸・通信業、建設業、その他の5業種。女子では、卸売業、運輸・通信業、サービス業、その他の4業種であった、また製造業と小売業は男女とも全業種平均を下回る結果となっている。

## ③業種別パート社員等平均時給額

区 分	事業所数		パート数		平均時給額		対前年時給額	最高時給額
	社	人	R1	H30	R1			
全業種平均	119	534	1,012	973	4.00	—		
製造業	69	286	1,035	972	6.48	3,500		
卸売業	6	39	960	957	0.03	1,120		
小売業	9	44	969	932	3.97	1,200		
飲食業	9	36	955	939	1.70	1,100		
運輸・通信業	6	31	994	—	—	1,538		
建設業	9	26	1,120	1,073	4.38	2,250		
サービス業	10	71	972	—	—	1,300		
その他の業種	xx	xx	xx	—	—	xx		

(注) データが1名以下の区分については“××”を表示している。

令和元年中に支払われたパート社員等の平均時給額は、昨年から4%増加し全業種平均で1,012円と初めて千円の大台を超えた。

業種別の平均時給額をみると、建設業の1,073円が最も高く、次いで製造業が1,035円、運輸・通信業が994円、サービス業が972円、小売業が969円、卸売業が960円となっており、最も低い飲食業でも955円と、最低賃金よりも50円ほど高い水準となっている。